

令和3年度 熊本県中学校夏季総合体育大会

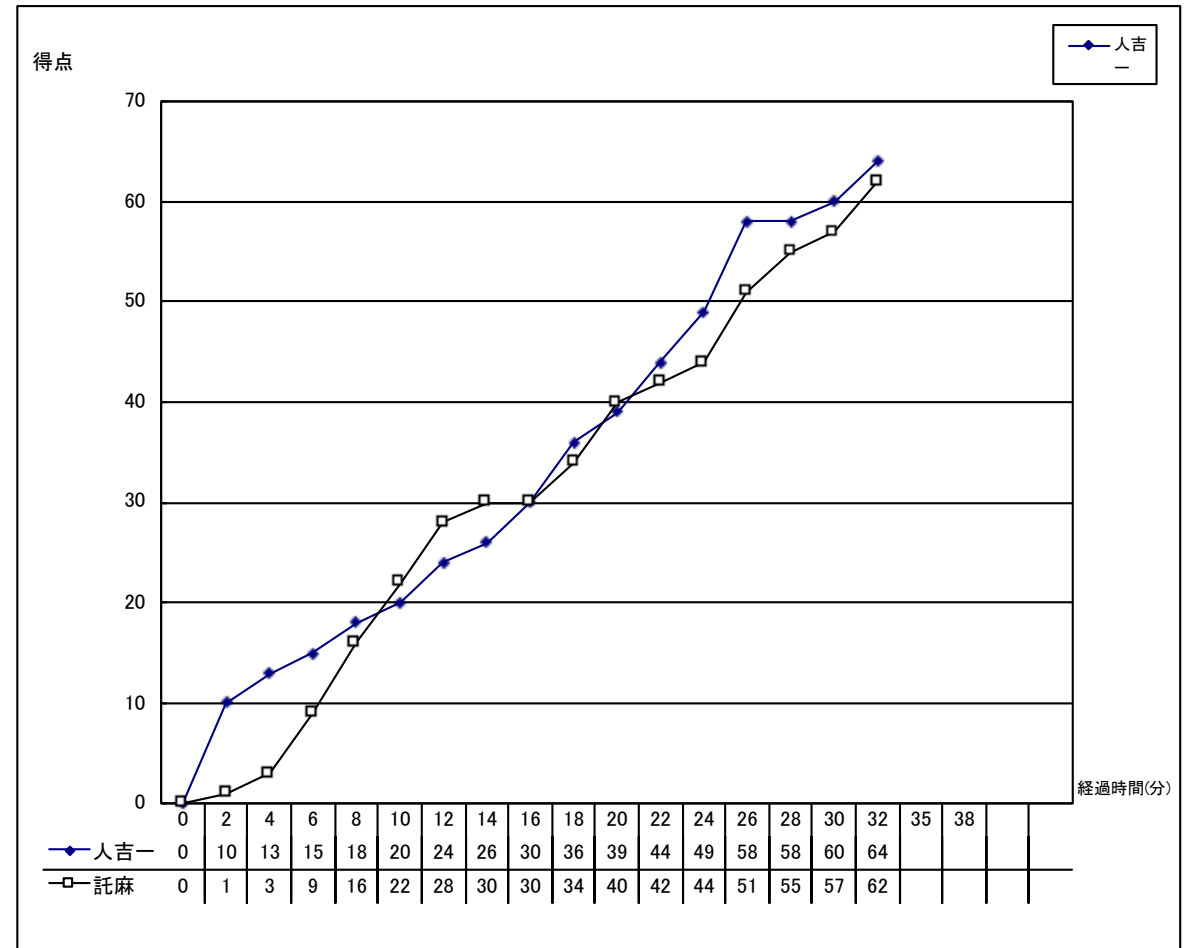
個人データ表

男子 決勝	令和3年7月18日	13:00 開始
会場： 熊本市総合体育館	Aコート	第4試合
主審： 林剛太	副審： 澤邊匡佑 藪崎康平	

☆ 人吉一 球磨・人吉	64	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>1 Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>12</td><td>2 Q</td><td>14</td></tr> <tr><td>19</td><td>3 Q</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>4 Q</td><td>18</td></tr> </table>	18	1 Q	16	12	2 Q	14	19	3 Q	14	15	4 Q	18	62	託麻 熊本
18	1 Q	16														
12	2 Q	14														
19	3 Q	14														
15	4 Q	18														

人吉一												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	東 篤朗	9		1	4	5	1	2	2		2	2
5	久保晟太郎	4			2	4		2	3	3	5	8
○ 6	今田流星	8		1	4	13				1	5	6
○ 7	松井龍之介	30	1	7	11	21	5	7	3	5	1	6
○ 8	白坂純之介	10			4	8	2	2	3	1	1	2
○ 9	濱田悠翔	3	1	1								
10	岩本大空											
11	一ノ瀬隼人											
12	東 龍朗											
13	西 瑛大											
14	木村雄弥											
15	平山偉也											
16	前田泰志											
17	松井心之介											
18	太田優心											
コーチ	永塘昭弘											
合計		64	2	10	25	51	8	13	11	10	14	24
成功率			20.0%		49.0%		61.5%					

託麻												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	宮原 大典	8		3	3	10	2	2	3	4	1	5
○ 5	畠田 光希	23		1	11	24	1	2	5	4	3	7
○ 6	木村 響太郎	6			3	4			4		1	1
○ 7	松元 一倅	20			9	16	2	6	1	4	1	5
○ 8	林田 行真									4		4
9	永田 成慈	5	1	2	1	4			3	3	2	5
10	多久 晃平											
11	橋本 宏稀											
12	中武 翔英											
13	森崎 瑛											
14	遠山 太一											
15	橋本 唯希											
16	澤田 暁											
17	野田 将吾											
18	本田 陵											
コーチ	栗崎 貴幸											
合計		62	1	6	27	58	5	10	16	19	8	27
成功率			16.7%		46.6%		50.0%					



<<戦評>>

熊本県中体連決勝のカードは、春の優勝校人吉一中と初の決勝の託麻中との決勝となった。

1Q: 人吉一#7のシュートから試合が動く。#7の連続シュート、#8のバスケットカウントで7-0となったところで託麻がタイムアウトを取る。託麻#7がフリースローやレイアップで得点するも、人吉一は#4のミドルシュート、#9の3Pで得点を重ねる。対する託麻も#4の速攻から#5連続シュートなどで加点し、#4がブザービートを決め、18-16の人吉一リードで終了する。

2Q: 託麻#5のレイアップから始まる。人吉一は#7#8を、対する託麻は#5#7を中心に一進一退の展開が続き、個人技を中心に両チーム攻め続け、30-30で前半を終了する。

3Q: 人吉一#8のミドルシュート、託麻#7のジャンプシュート、人吉一#7の個人技と、2Q同様お互いに一歩も譲らない。人吉一#7、託麻#5は互いに20点ずつ点を取り合い、49-44人吉一がリードで3Qを終了する。

4Q: 託麻#5ドライブからのバスケットカウントで始まる。託麻#5が決めると、人吉一#7が個人技から得点。残り5分46秒58-51で、託麻#5はオフェンスファールで、痛恨の退場となる。タイムアウト後、託麻は#7を中心に攻め、連続得点に成功。人吉一はリズムに乗れず、残り4分17秒58-55でタイムアウトを取る。託麻#9の3Pで60-60の同点とし、一気に会場が盛り上がったが、すぐさま人吉一#6がゴール下で加点。残り29秒で託麻#6がオフェンスリバウンドからシュートを決め、62-62の同点に追いつく。残り6.3秒、人吉一のセットプレーから#6がミドルシュートをきめ、64-62となる。託麻のタイムアウト後、託麻はシュートを放つもリングに嫌われ、64-62人吉一が優勝して、今大会が閉幕した。最後の最後まで胸を熱くしてくれた両校に、賞賛の拍手を送るとともに、8月の九州大会でも熊本県代表として熊本の意地を鹿児島で見せてくれることを期待している。

記録者 米田創一郎(熊本市立三和中学校)